

議 事 概 要

◎ 委員会の所管事務に係る調査について

- ・ 5月23日の代表者会議にて、持ち帰り検討し、改めて協議することとしていた委員会の所管事務に係る調査について、各会派の意見聴取。

・ 調査項目

維新：観光…インバウンド対策として、宿泊税あるいは新税の導入
(空港やホテルでのピッキングサービスなどの充実)
観光資源に関する来日外国人への周知・アピール
インスタグラムの活用による魅力発信

I R…区域整備計画に対する7つの条件の対応として、収入は府民に還元されることを周知

日本らしさを意識した成長型 I Rとして持続的な発展を目指したい

スマートシティ…ORDENの活用

(今以上に多くの企業や市町村に呼びかけ、正しい情報の発信やより充実したサービスを目指したい)

万博…特別委員会と連携し、会場までのインフラや公共交通機関等を整備して周遊観光の強化に繋げる

会派としては、インバウンド対策等の観光をメインに考えている。

公明：オーバーツーリズム問題

(ツーリストシップ、旅先が豊かになることが大事)

自民：各会派が取り上げた分野すべて興味がある。

宿泊税の活用(旅行者の荷物の問題、受入れ体制の整備等)

周遊の強化によるインバウンドの分散

I Rの府民理解のための研究

ORDENもこれからであり、多くの企業及び自治体の連携が必要
委員会として共に研究していきたい。

⇒観光とスマートシティに決定。

・ 調査方法

維新：参考人の招致や視察

公明：学識者等の参考人招致

龍谷大学 阿部大輔教授

一般社団法人ツーリストシップ 田中千恵子代表理事

自民：視察か参考人招致

⇒各会派の意見を軸に正副委員長で調整。

- ・ 今後の予定として、執行部局から現状についてのヒアリングを7月10日までを目途に行い、課題の認識合わせを行う。その後月に1回程度のペースで協議したい。

- ・ 必要があれば、代表者会議を開会することを確認。

- ・ 調査項目及び今後の予定について、所属委員への周知を依頼。